

有磨学区(町・地区)まちづくり推進委員会

委員長 小田 朋志

(問合せ先) 958-3849 (有磨交流館)

事業内容

(1) 魅力ある地域づくり事業

防災学習

視察研修『香川県防災センター』(5月25日)

人権パネル展

『ユニバーサルデザインについて』(10月27日)

(2) 健康・生きがい・支えあい事業

そとまちロードウォーキング

視察研修『特別名勝：栗林公園』(5月25日)

(3) 地域ぐるみの生活安全・環境事業

高齢者交通安全教室(11月20日)

環境ポスター作成・学区内掲示

(2月 学区内ごみステーション)

芦田大谷砂留整備作業&新規調査

(11~2月)

(4) つなぐ心・人・地域交流事業

ふれあい夏祭り(7月27日)

ふれあい文化祭(10月27日)

モルック大会(11月17日)

(5) 広報誌発行业 年2回 有磨交流館

(6) コミュニティ育成事業

地域一斉清掃・地域交流行事など 通年

(7) まちづくり推進委員会運営事業 通年

善行市民表彰の推薦と善行学区民表彰
選挙啓発

☞ 香川県防災センターにて



☞ 人権パネル展



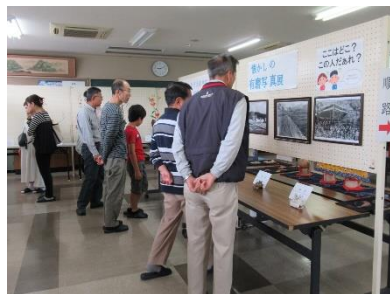
☞ ふれあい夏祭り



☞ 高齢者対象
交通安全教室



☞ ふれあい文化祭



成果

協働のまちづくりの推進に向け、コロナ以降の地域ニーズを検討しながら、行事の規模、内容の変更、開催時期を考慮するなど、安全を確保しながら適宜工夫して実施することができた。

課題

高齢者の割合が高い地域なので、行事内容や開催日、規模を変更するなどの各行事の「見直し」が必要だと思います。各団体役員の負担を軽減しつつ、役割の理解を高め、少しでも参加しやすい環境を整えていきたい。

課題解決にむけて

コロナ後の“新しい日常”のなか、地域のニーズに応えられるように、関係機関や各種団体との連携を図り、幅広い世代の活動の活性化と行事の見直し、人材（担い手）の育成に取り組んでいく必要がある。

芦田大谷砂留整備



2017年から「地域まちづくり計画推進事業」として整備をはじめました。現在は地域まちづくり推進事業の「地域ぐるみの生活安全・環境事業」として、自治会連合会、芦田大谷砂留を守る会（ボランティア）とまちづくり推進委員会の部会のメンバーで、整備保全活動を行っています。

2024年度は、5月19日に「現地研修会」を開催しました。岡山大学准教授の樋口先生を講師にお迎えし、6番砂留を実際に見学して砂留の構造などを学びました。



現地研修会



整備作業の様子

本格的な整備作業は、11月10日（日）から2月16日（日）までの隔週日曜日の午前中に行い、9回の実施で、延べ94人の参加がありました。本年度は、まず側道の木々の伐採や落石の除去から整備を始めました。そして、3番・4番・6番砂留の広場や石積みの草刈りなどをメインに実施することができました。

天候不順で整備作業は1回中止になりましたが、大きなけがや事故もなく、みなさんのご協力により順調に進み本年度は無事終了、来年度以降に繋げることができました。

『新規砂留調査』継続中！

今年度も通常の間置作業に加えて、新規砂留の調査が12月より始まりました。

岡山大学准教授の樋口先生と調査を進めたところ、2025年3月末まで計7回の調査で、新たに79基の砂留が発見確認…初年度からの調査で合計499基となりました。

調査の様子

